

# 全久院報

松本市深志3-7-50 電話 0263-36-3211

## 今年の上半期は…

今年も除夜の鐘付きで新年を迎えたと思ったら、もう半年過ぎてしまいました。早いものです。



さて1月号でお知らせしましたとおり永井昭氏が新会長として推薦され、活動が始まりました。副会長を縣正長氏、庶務に高木常行氏、会計に川上修介氏にお願いすることとなりました。4月27日には第3教区の護持会役員会がホテル ブエナビスタにて開催され、新会長に出席いただきました。下の写真がその時のものです。松本市中の曹洞宗寺院の総代長さんが集まる中で紹介を受け、これからお役目が始まります。以後よろしくお願いたします。



庫裡の南側の駐車場を整地して、副住職の住居を建てる準備を始めた、とお伝えしましたが、まだ公図上に残っていた水路「青線」が消えません。2年越しで手続きをしていますがなかなかです。消えたらすぐに工事を始めます。

残りの半年副住職、大黒ともども精進してまいりますのでよろしくお願いいたします。

## お盆参りのお知らせ

お盆のお参りの予定を次の表にしましたのでご覧いただき、ご準備をお願いします。本年も副住職俊浩が松本市の北半分を回り、私が南半分を回ります。毎日80軒前後の軒数を回ります。朝7時半から夕方7時ころまで回ります。事前にお配りする、五色の旗を入れた案内の封筒に記入した期日と時間どおりにお参りがなかった場合は、電話などでお問い合わせください。今年の予定は下記の表のとおりです。

8月	副住職の回る範囲	住職の回る範囲
10日	安曇、明科、麻績など超遠方に同行	安曇、明科、麻績など超遠方
11日	並柳、寿、塩尻、村井、平田、など市外南部	笹部、征矢野、南原、石芝、二子、神林、笹賀
12日	筑摩、神田、惣社、山辺、清水、横田、など市外北部	石芝、高宮、南松本、荒井、新村、波田、岡田、桐、沢村、蟻ヶ崎、城山など
13日	源地、日ノ出町、梶、西小松、清水、四谷、女鳥羽、下横田など市内北東部	宮村、埋橋、庄内、東中条、豊田町、南新町、井川城、など市内南部
14日	裏町、片端、下横田、女鳥羽、旭町、元町、横田、美須々、浅間、北深志、沢村、田町、など市内北西部	鎌田、本庄、博労町、天神、宮村、中町、小池町、飯田町、本町、新橋、島内、蛇原、
15日	上土、六九、西堀、城西、宮淵、城山、留守だったお宅、	白板、渚、巾上、伊勢町、国分町、留守だったお宅

## お盆前の作業と懇親会に

本年も、お盆が始まるにあたり、本堂の掃除機かけ、山門の掃除、お墓の掃除や、窓拭きをしていただき、その後懇親会を催したいと思います。ぴかぴかの本堂へ皆様をお迎えするためにも是非皆様お集まりください。毎回参加していただく常連さんもできました。

**7月22日(日) 14時全久院の庭に集合、掃除(お墓の清掃・本堂の掃除機かけ・窓拭き・山門二階の拭き掃除など)、掃除が終わり次第、17時より夕食を兼ねた懇親会**

作業のできる服装でお越しください。汗をかきながらの作業や懇親ですので、堅苦しくないお寺の一面もわかっていただけるかと思えます。参加希望の方は食事の都合がありますので、電話にてお申し込みください。



## 盆棚の飾り方

お仏壇はご先祖様をまつるばかりでなく、仏様の世界、須弥山(しゅみせん)を表しています。仏教の始まったインドの人々にとっては孤高で白雪を頂くヒマラヤ山脈の峰々は、神聖な場所として信仰の対象となっていました。お釈迦様が説かれた仏さまの住まう須弥山はきっとこのヒマラヤの山々をイメージしたものだったのでしょう。私たちの祖先がお盆の間住まう場所を須弥山に見立てて作られたのが盆棚です。その飾り方はそれぞれの家によってみな違いますので、ご先祖様が代々伝えてきた飾り方を大切にしてください。また下記に一般的な飾り方を示しますので、飾り方の不明な部分はどうぞ参考にしてください。



### 1、棚を作る場合(写真参照)

上の段に本尊様、(本尊様は仏壇の中に入れ、盆中は扉を閉じておくというお宅もあります。その家のやり方を尊重してください。)お位牌、塔婆を奉る。お位牌は古い順に向かって右へ、新しいものは左へおまつりします。

2段目には供物をお供えします。お供物には二種類あります。水(お茶)、食(お膳、果物、菓子、嗜好品)などです。3段目に過去帳、花、燭台、線香立て、鐘、マッチや火消しや線香入れなどの道具をおきます。

### 2、仏壇を使う場合

仏壇は常のとおり奉る。手前に経机や机を出すお宅は机の上に、経机を出さず引き棚を使うお宅はその上に棚の3段目に飾る過去帳や花や鐘などを飾る。その他灯笼や飾り花、いただいた供物などは写真のとおり適所に飾る。

3、またお寺が配る五色の盆旗は、写真のように広げて糸などを通して吊るか、棚に広げておいてください。

初めにも書きましたが、こうでなくてはいけない、ということはありません。先祖様をお迎えするという気持ちをこめて、その家に伝わった仕方で飾っていただくのが大切なことと思います。

## 全久院の集い

### 座禅会 ……「従容録」第57則 巖陽一物(ごんよういちもつ)……

この章には趙州禪師と弟子の巖陽尊者が登場します。趙州は当時の中国で有名な禪師様で、巖陽が禪師様に問うたのです。「一物不将来の時如何(いちもつ ふしょうらい のとき いかん)」「私は仏道修行を通して、禪師様の教えのとおり、悟ろうという意識も何もかも捨てきてまいりました。いかがお考えですか。」すると趙州禪師様は「放下著」「さらに捨てよ」と答えられた。すると巖陽は「すべて捨て去ったうえで、さらに何を捨てよと言うのか」と問うと、「担取(たんしゅ)し去れ」と禪師様は答えられた、「そんなに大切なものなら担って行ったらどうだ」という問答です。

典型的な禪問答ですね。「一物不将来」(何もかも捨て去った)といってもまだ仏道修行・悟り・師匠に認めてもらいたいなどの様々な思いを捨てきれない弟子を見抜き、「放下著」と答えた。しかし納得できない弟子に「担取し去れ」「担って行け」とだめ押しを掛けました。「見る人から見れば明らかに捨てきれず、担っているぞ。早くそれに気付きなさい」と答えたのです。

禪の修行で一番邪魔になるのは悟りを求めて、「頭で、文字で、知性で理解しようとする分別」です。荒っぽい分別は捨てられているが、微細な分別にまだ頼って仏道を分別する巖陽に趙州はダメ押しをしたのです。唐時代の弟子を育てる第一人者の趙州の弟子との接し方の妙を示した章です。自分が「こんなにも一生懸命人のために尽くしているのに、周りの人は何も評価してくれない」ともやもやしている方、「一物不将来」「放下著」「担取去」の言葉をかみしめてみてはいかがでしょうか。

**新年会** 本年は1月20日(土)に開催されました。例年どおり茶席、本堂での座禅、読経。席を庫裡に移し護持会の総会、御詠歌、合唱とお愉しみを含めて和やかに行事を進めました。全久院の活動を楽しんでくださる皆さんが集まり、日ごろの活動を発表しながら楽しみの輪を広げてくださいました。

護持会の総会では年間の事業報告と会計報告が行われ、会長を長年お勤めいただいた松尾恵司前会長のお言葉を頂戴しました。本年は約50名の方の参加をいただき皆さんの交流を深めていただくことができました。懇親会の最後には毎年恒例になった広田さんによる手品で絞めていただきました。種がわかりそうでわからない、笑いに満ちたパフォーマンスで参加者全員腹を抱えて楽しみました。



**観音講** 3月の観音講で毎年恒例になった「ヤショウマ」を作りました。2月の観音講で作り方を確認して、何をどう作るかそれぞれに考えてきていただいた結果が左の写真です。昨年まではなかなか思ったような形にならなかったのですが、本年の成果は「スイカ」「チューリップ」「椿」「ブドウ」などなどです。いかがでしょうか？言われればそう見えるですよ。



観音講の皆さんが集まる前に住職と副住職が米粉を蒸かして団子状のものを作り、観音講の皆さんは色粉を混ぜて練るところから始めてもらいます。細い円柱状にして、そ



れを組み合わせる形で作ってゆきます。棒状に太い金太郎飴のようにして、それを細く伸ばします。その時捻じれが生じて考えていた模様とはかけ離れた模様になって出来上がります。笑いに満ちたヤショウマ作りでした。

**ご詠歌** 5月20日(日)に開催された松本仏教和合会の「お花まつり」にてご詠歌の奉詠を行いました。右の写真では見えないでしょうか？大黒と松尾さん、轟さん、瀧澤さん、それから新しく入られた吉川さんの5人で参加しました。曹洞宗寺院の他の梅花講の皆様との合同の奉詠でした。例年の「釈尊花祭御和讃」をお唱えしました。もともと松本仏教和合会は日露戦争の戦没者の慰霊のために、松本市中の各宗派の寺院が集まって組織されたものですので、「慰霊」を大切にします。最近では東日本大震災の慰霊供養も行われました。目に見えぬ様々な精霊に心を込めてお唱えされました。



## 茶道コーナー

・・・初釜・・・

1月8日(月・成人の日)毎年恒例の初釜を行いました。全久院の茶道部はお弟子さんの会を「即心会」という名で呼んでいます。現在40名ほど登録されています。この皆さんが一年の稽古始めに集まり、住職と副住職の点てる濃茶と薄茶を味わっていただき、会席料理を賞味してもらうという日程です。

私も弟子として京都の堀内家の初釜に参加させていただいていますが、正月の改まった席での緊張感「一年の稽古を今日始めるんだ」という気構えを調えるのに最適のものです。堀内家では床の間に「春千林に入りて処々に花」と如心斎(表千家7代、江戸時代中期、表千家中興)によって書かれた掛け軸を飾ります。全久院では堀内宗匠の書かれた「春千林に入りて処々に鶯」と書かれた掛け軸を飾ります。同じ字ではなくて一步下がり「花」を「鶯」に変えてあります。右の写真のお客様の陰に「春千林」も文字が見えるかと思えます。気付きにくい様々なところにいろいろな仕込みをしてあることの気付きも楽しみの一つです。

今年の会席料理も以前「嵯峨野」という会席料理の店をやっていた武田さんに腕を振るっていただき茶事の形式で行いました。以前も書いたかと思いますが、茶道は茶事を行うことを目的に稽古を積み上げています。日頃の稽古の成果を確認するのが茶事であり、そこに集う亭主と客の心通わせる時間を作り出すのが茶事と考えています。ただ点前を覚えるだけの稽古から一步踏み出した稽古ができるように、さらにお客様との会話や料理の味を楽しめるような、余裕を持った心で茶事ができるように自分を高めていきたいと思えます。



## 葬儀や法事に全久院をご利用ください!

最近では仏教寺院をめぐる問題が多くマスコミに取り上げられます。とくに大手企業がネットを使って集客して、葬儀や法事を行う動きが出てきました。

**イオンが「直葬 198,000円」の商売を始めました。**直葬というのは納棺して、火葬するだけの「葬儀?」です。葬儀と言えるのかわかりませんが。棺に収める時と火葬場に僧侶を派

遣して読経させる。終わると棺に収められた遺骨を持ち帰る。これが直葬です。ひとりの人が最後を迎えた時にこんな幕引きは考えたくありません。都会に比べると地方はまだまだ強い絆で結ばれた社会です。都会ではやり始めた直葬がすぐに松本に入ってくるとは考えたくありません。人間としての心がここまで荒廃したと考えたくありません。その為にも全久院がどう対応してゆくかしっかり考えてまいります。全久院に対して檀家の皆さんが何を望んでいるのか把握して、それに対応できる体制を作ってゆきたいと考えています。

ちなみに家庭の事情で葬儀の費用が捻出できないとおっしゃる檀家の方に、これ以下の金額で葬儀を行ったこともありますので、どうぞ相談ください。

なお、全久院での葬儀とお考えの方は、ことの葉（前ヒラバヤシ生花店）（電話32-8722）かメモリアルライフ信州（電話40-7745）の葬儀社をお勧めしています。行政などへの手続きや、花や供物の発注、葬儀の内容や「あとふき」など、みな業者がやってくれます。

葬儀や法事は宗教的な儀式ですから、寺という場所でなければ、その儀式を行う意味が薄れます。また経済的な面も考慮してお寺を使っていたいただきたいと思います。正座をしなくていいようにイスを用意しました。駐車場の確保、など以前よりは便利になってきています。いざという時に慌てぬよう、自分の葬儀の仕方を住職と相談しておくことをお勧めします。

## 掲示板（皆様のご参加お待ちしております）

### ・ ・ ・ 青山俊董師特別講演会 ・ ・ ・

9月26日（水）3時から6時まで  
参加費500円

座禅会主催により、座禅会で勉強している「従容録」をもとにお話しをいただきます。曹洞宗では「従容録」

は坐禅のテキストに当たります。お釈迦さまや達磨さまや、中国の歴史上有名な老師さま方がどのように悟りを開かれたか、お弟子さま方とどんな禅問答をされたかが解説されており、修行の手助けとなる書物です。そのお話を前はこんなお話に展開していただきました。「私たちに欲がある。その欲を自我だけに向けると煩惱となる。それに気付くと欲を出せなくなる。自我に向かう欲を利他に向けると誓願となる」というお話をいただきました。気持ちの持ち様で不幸が幸に代わります。青山師の体験談などを交え分かりやすくお話いただきます。また私たちの生き方にも多くの示唆をいただけます。お話しを聞きたいという方は檀家さま以外の方でもご自由に参加できますので、お誘いあわせておいでください。

### ～施食会～

8月5日（日）12時より自家製によるお弁当、12時半より松本市の噺家和泉家志ん治師匠のパフォーマンス、13時より観音講や合唱部の皆さんと一緒に懐かしい唱歌の合唱、14時より法要（ご詠歌の会の皆様による奉詠）、15時よりお塔婆を配ります。また恒例になりましたバザーを行いたいと思います。タオル・シーツ・ふとん・食器・石鹸などたくさんの品があります。持ち帰るのに便利な風呂敷や紙袋など持ち寄ってお越しください。かなり良い品がありますので是非ご協力ください。そのほか皆さんにお参りいただけるような内容を考えています。ぜひご参加ください。



．．． 檀信徒作業と懇親会 ．．．

例年通り 7月22日(日)14時より全久院で開催します。2時より本堂とお墓の清掃、窓拭き、山門の掃除をしていただきます。5時より懇親会となります。屋外でのバーベキューと冷たい生ビールという趣向です。参加希望の方は 34-4300 へファックスください。

．．． 座禅会 ．．．

9月15日(土)・10月13日(土)・11月17日(土)・12月15日(土) お粥と精進料理。

以上が下半期の日程です。毎回夕方4時集合4時40分まで青山俊董師の市民タイムスのコラム「従容録」を住職が解説し、5時45分頃まで座禅、6時まで茶話会という予定で行います。12月19日はお粥と精進料理を経験していただきます。座禅を経験していただくだけでなく、もの見方や生き方を豊かにすることができると思います。ぜひご参加ください。

．．． ご詠歌会 ．．．

9月26日(水)・10月10日(水)・11月14日(水)・12月12日(水)

午前10時半より12時まで、白板 東昌寺副住職 飯島恵道師にご指導いただきます。一緒にいかがですか。また、ご詠歌を始めたいという方に大黒が初心者コースを始める計画をしています。ご希望の方はぜひご連絡ください。上記とは違う日程をくみたいと思います。

．．． 観音講 ．．．

毎月17日10時から12時半まで行います。ただし、10月は17日を変更し23日(月)に奈川の「仙洛」への小旅行の予定です。恒例の観音講の内容は10時から観音様にお勤め、10時20分からご詠歌、10時50分から大黒の指導で唱歌の合唱11時20分より食事という日程です。現在15人ほどの参加者がいます。気よりも良く60代から90代の方が元気に集まってきました。気楽な会ですのでぜひご参加ください。

．．． 歌の会 ．．．

9月5日(水)・9月19日(水)・10月3日(水)・10月31日(水)・11月7日(水)・11月21日(水)・12月5日(水)・12月20日(水)

午前10時より12時まで、お茶休憩をはさみ大黒が指導します。発声練習をして、唱歌、童謡、懐かしい曲など一緒にいかがですか。また、ハーモニーを付ける曲もあります。他の催しへの参加なども企画しています。音楽を通した楽しい友達もできますよ。お待ちしております。

．．． 全久院ホームページ ．．．

<http://zenkyuin.or.jp/>

全久院ではホームページを開設しています。「全久院報」をネットで見ていただけるようにしています。管理をしてくれている檀家の丸山耕一さんと親しみやすいものにしてゆきたいと思います。また、皆様と意見や情報を交換できる場に育てて生きたいと思います。ぜひ一度開いて見てご意見ください。